



ふじ美が原

富士見中学校

白鈴祭テーマ

特集：第11回白鈴祭

繁花

～繋げる思い、共に咲く花～



9月25日(金)、26日(土)に、「第11回 白鈴祭」が開催されました。コロナ禍の中、役員は、いったいどのようになれば開催できるのかを、夏休み前から考えに考え抜き、計画準備を進めてきました。そしてこの二日間は、今年ならではの、今年しか味わうことのできない白鈴祭でありました。



総合の時間発表

前日は、各委員会や教室で会場準備や展示物の飾り付けを行いました。今年度は、総合的な学習の時間の成果を地域の施設に展示しました。一般公開を断念せざるをえなかった中、成果をなんとかして地域の方にも見てもらいたいという思いから企画されたものでした。3年生はコミュニティプラザ、2年生は役場ロビー、1年生はゆめひろばに展示しました。

1日目は、生徒会役員のストーリー性のある工夫された劇からスタートです。美術部が作成したステージバック披露のあと、声高らかに第11回の白鈴祭の開祭が宣言されました。

午前中のステージ発表は、2年生の総合的な学習の時間の学習の発表がありました。キャリア教育で学んだことを、テレビ番組風の映像と共に発表しました。

午後は、体育祭です。あいにくの雨で、体育館での開催となりました。歌あり、手拍子あり、タオル回しありの、各部特色のある縦割り応援が披露されました。そして、体育祭がスタート。まずは大縄跳びです。各クラス気持ちをひとつにして大縄を跳びました。縄を跳ぶ1回1回に力が入りました。続いて、綱引きです。縦割りでの対戦です。「せーの」「よいしょ!」「せーの」「よいしょ!」と応援する先生と綱を引く生徒が一体となって競技を楽しんでいました。



「よいしょ!」綱引き



合唱部発表

2日目は、合唱部の発表から始まりました。アカペラでの演奏は、歌声の響きのよさを伝えてくれました。また、Nコン課題曲「足跡」では、聞く人にエールを届けてくれました。続いて1年生の総合的な学習の時間の学習発表では、富士見観光大使プロジェクト、山



国語科詩の発表



はちさんとルパンビー



閉祭宣言

を知ろう、つながろう世界と、ニュースポーツ、富士見の自然をビオトープ！、切り絵をつくろう、SDGsの7つの講座で、それぞれ探究したことを発表しました。3年生の総合的な学習の時間の発表では、「富士見の福祉」と称して体験で学んだことを、見ている側とのやり取りや、体験等してもらいながら、分かりやすく伝えてくれました。

体育科の選択ダンス発表では、各グループ様々なダンスが披露されました。曲に合わせて、思い思いに体で表現することのおもしろさを伝えてくれました。国語科では、各クラスの代表が自作の詩を映像とともに朗読しました。ひとつひとつの言葉に感性の豊かさがありました。英語科では、スピーチの発表がありました。それぞれ、自分の考えを堂々と英語で表現してくれました。

午後の吹奏楽部では、心を込めた演奏の中、途中で一年生部員による踊り、富士見中の「嵐」が出演するなど、聞いている人を楽しませる演出もありました。アンコールでは、3年生部員による「銀河鉄道999」の演奏がありました。

閉祭式は、中庭で行いました。役員の劇から始まり、劇の途中では、サプライズのバルーンリリースがありました。色とりどりのバルーンが中庭の空に色づきました。そして、最後はこの日のために作られたテーマソング「花 ～Return of happiness～」を小池

生徒会長のギターによる伴奏に合わせ、全校で歌いました。3年生、2年生、1年生と中庭を囲み、中央の庭には役員。自然と気持ちがつながり、心を震わせる歌声となりました。一体感とはまさにこういうことなのでしょう。心に刻まれる大きな「花」が中庭に咲きました。

日頃より、富士見中学校を支えてくださる保護者、学校サポートボランティア、町教委関係者の皆様をはじめ、地域のたくさんの皆様、第11回白鈴祭が開催できたこと、誠にありがとうございました。



3年生選択ダンス



吹奏楽部発表

「花 ～Return of happiness～」

作詞：令和二年度富士見中生

作曲：小池天 協力：文化委員会

偶然同じ場所で芽を出した僕たちは

これからどんな花を咲かそうか

全然報われないともがいた日々たちも

僕らには必要だったのかもね

まだ大丈夫だと作る笑顔が悲しいから

苦しい時にはみんなの声をきいてみよう

胸いっぱい吸い込んだすんだ空気が

前に進む勇気をくれた

きっとそうやって助け合いながら

生きていくんだ ああ

精一杯に咲かせた僕の花は

きっと未来へ繋がっていく

やっと笑いあえると始まったあの日々に

気づけたのは君がいたから

ありがとうを伝えたくてまたここに帰ってきたんだ

鈴の花が咲き誇ればきっと

幸せがやってくるよ

胸いっぱい吸い込んだすんだ空気が

前に進む勇気をくれた

きっとそうやって助け合いながら

生きていくんだ ああ

精一杯に咲かせた僕の花は

きっと未来へ繋がっていく

精一杯に咲かせた僕の花はきっと明日へ繋がっていく

全校が1つになり、大きな花を咲かせたとき

- ★最後の白鈴祭が終わってしまいました。自分にとって誇れるものを増やすことができたのは良かったです。最高でした。
- ★今日は中学校生活最後の白鈴祭、そして、最後の部活がありました。今までで一番楽しかったし、風船を飛ばすところなんか感動しました。部活発表は、ソロの部分で緊張して上手く吹くことができなかつたけど、このメンバーで演奏するのは最後だったけど、とても楽しく演奏することができました。
- ★白鈴祭2日目でした。自分が出たのはダンスと閉祭式でした。ダンスではしっかり踊れたし、リハーサル以上に盛り上げることができたので良かったです。他に部活発表、教科発表、総合発表など、いろいろありました。合唱部・・・とても歌声がきれいで、自分の好きな歌だったりいろいろあって、見ている側も楽しめて良かったです。吹奏楽部・・・色々な曲があって、ひとつひとつの音がとてもキレイで、楽器ってこんなにキレイな音が出るんだと、改めてすごさを実感しました。嵐のメンバーのダンスがとても格好良かったです。教科発表・・・英語では発音が良くて、英語だけでなく日本語もスクリーンに入れていて、とてもわかりやすかったです。国語では短い文に色々な意味が込められていて、ゆっくり話していてとてもわかりやすかったです。総合発表・・・福祉について知ってもらいながらもおもしろさや体操なども入れていたところが良かったと思いました。閉祭式・・・自分は役はなかったんですが、全校と一緒にダンスをしたり歌を歌ったりしているところを見たら、「あ、全校が1つになったんだな」と感動しました。正直、みんなと歌を歌っているときに、白鈴祭の中で1番楽しかったです。肩を組み、全力で歌を歌い、役員になって良かったと実感しました。あの時の感動は、一生忘れることはないと思います。天が言っていた通り、一瞬で終わってしまったなと思いました。達成感、そして、青春を味わうことができたので良かったです。本当に、たくさんの人に感謝しかないです。

生徒会顧問斎藤先生より

今年の生徒会および白鈴祭のテーマは「繁花 繋げる思い ともに咲く花」です。コロナ禍で、全校生徒一人一人の思いを繋ぐにはどうすれば良いか。どうすれば感動を共有できるか。また、生徒会長の選挙公約であるオリジナルソングをどのような形で歌えばよいか。生徒会役員と一緒に悩みました。正解が分からない中でしたが、生徒会役員が大切にしたのは「今年だからこそできる最高の白鈴祭を全校で創る」という思いでした。この思いが中心にあり、役員と全校生徒の思いが繋がり、感動が広がっていったように思います。生徒の頑張り、そして地域と保護者の皆様の支えがあり、無事に終えることができました。ありがとうございました。

校長先生より

困難を超えて

中庭から放たれた色とりどりの風船が、これから様々な道に飛ばれていく君たちの姿と重なって見えました。

コロナ禍の中、制限を受ける中で行われた今年度の白鈴祭。しかし、困難を乗り越えることで、新たな収穫を得ることができたと思います。二点に絞って記してみます。

一点目。それは、知恵を出し合い、工夫することの尊さを学べたという点です。

今年の白鈴祭では、実に様々な工夫がなされました。中庭を活用した閉祭式の実施。全校ダンスを簡便なものにしたこと。時間設定を工夫して消毒等のための休憩時間を多く確保したこと。町内各施設への作品展示。柔剣道場での中継映像による保護者の方の参観。展示作品を見学してもらうための夜間の学校開放。吹奏楽部、合唱部のリハーサル(ゲネプロ)での参観...

これらはすべて、「今の状況下で目的(願い)を達成するためにはどうしたらよいか」という視点から考え出されたものです。目指すべきゴールは決まっていますが、そこにたどり着く道は一つではないということがよく分かります。もちろん、これら一つ一つの実現は決して容易なものではなかったと思いますが、その苦勞を乗り越えて願いをかなえたことに非常に大きな価値があると思います。私たちは、工夫して道を切り拓いていくことの尊さを学ぶことができました。

二点目。それは、他者と関わり合う協同(共同)的な営みの価値を学ぶことができたという点です。

一点目に記した様々な工夫は、決して特定の誰か一人だけが発想したものではありません。そこには多くの人の知恵が働いています。一人では思いつかないようなことでも、他の人と意見を交わし合う中で生み出されてくるアイデアがある...このことを実感できたのではないかと思います。

そして、アイデアを現実のものにするために、異なる立場の人に力を貸してもらったという側面も忘れてはなりません。例えば、町内施設への作品展示については町教育委員会の方に力を貸していただきました。また、中庭での閉祭式実施に当たっては、必須のものである音響設備を専門家である業者の方が整えてくださいました。

「こんなことを実現したいんだ」という願いがあれば、一緒に悩んでくれたり、知恵を出してくれたり、実現のために力を貸してくれたら、そういう人たちが現れてくれるように思えます。他者を信じ、他者を頼ってよいのではないかと思います。きっと、共に関わる人たちにとっても意味のある営みになるのではないかと思います。

学校教育目標を表す今年度のキーワードの一つに「つなげる」を示しました。白鈴祭の取組の中で学んだことを、ぜひ、中学校でのこれからの学び、そして、自分自身のこれからのつなげていってほしいと願っています。

3 学年 修学旅行



クラスごと、かっぱ橋前で

「再発見 ～みんなの^{ながの}長野り気で楽しもう！～」をテーマに掲げ、3年生が修学旅行に行っていました。1日目は、黒部ダムを見学し、大町市のホテルに宿泊しました。2日目は、大王わさび農場を見学後、上高地で自然を満喫しました。3日目は、日帰りでクラスごと木曾方面、飯田方面、長野方面へ訪れました。長野の魅力^{ながの}を再発見の修学旅行でした。



大王わさび農園での一コマ

2 学年 生徒会引継へ向けて

2学年は、いよいよ生徒会引継へむけて動き出しました。まずは、先輩の話を聞いて、1年後の自分たちの姿を思い描きました。現在は学年内選挙へ向けて。各クラス候補者をたてて、準備を進めています。少しずつ学校を支える姿に変わってきています。

★今日、次期会長・副会長候補のクラス代表者を決めました。私は会長候補に〇〇さんと△△さんのどちらを推薦するか、とても困っていました。でも結論は〇〇さんです。決まった3人にはクラスの代表として頑張ってもらいたいです。また、3人の事をクラス全員で支えて応援できたらいいです。3人を推薦したからには、最後まで私も頑張りたいです。



共に ～協力して最高の先輩に～

1 学年 1回総合での学び

10月8日(木)には、1日総合が行われました。7つの講座、それぞれで充実した1日を過ごしました。

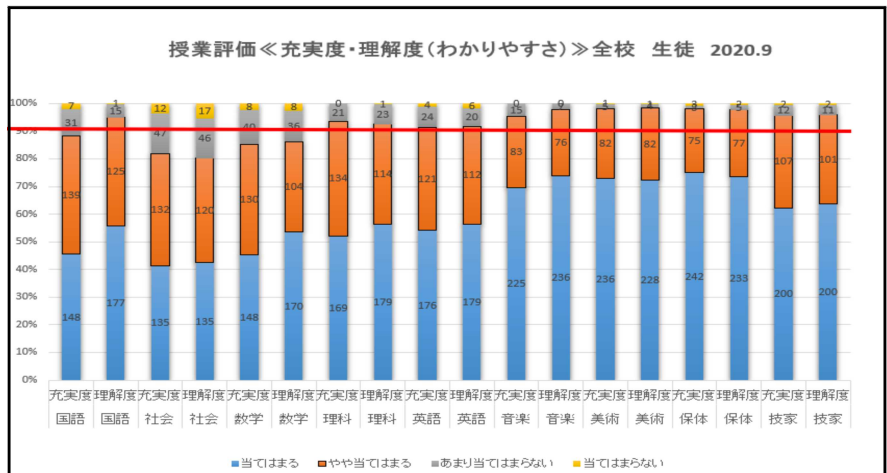
★総合では雨天の登山でした。気温も下がって手もかじかみました。でも雨天の登山でも楽しくできました。雨や雪の時の登山の感じを少し知ることができました。帰ってきた後は昼食をはさんで映画の続きを見ました。映画から危険性や山岳救助の難しさやすごさを知ることができました。



入笠山へ登山をしました

生徒による授業評価アンケートより

全校生徒への無記名による授業評価アンケートをとりました。各教科、充実度やわかりやすさは、おおむね90%前後でした。また、学習への取組では、「自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う」生徒の割合が増え、話し合い活動等の向上が考えられます。一方で、「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う」生徒の割合がやや減ってきている現状もありました。学習内容の確認や関係づけ・一般化、自己変容の自覚等、振り返りの場面の充実を図って参りたいと思います。



富士見町立富士見中学校
 諏訪郡富士見町富士見四六五四番地
 TEL 0266-62-2009
 FAX 0266-62-7409
 担当 久保 貴史